

株式会社ブロードバンドセキュリティ
2019年6月期 第3四半期決算説明資料



2019年5月13日

2019年6月期 第3四半期 業績サマリー

最近のトピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

2019年6月期 第3四半期 業績サマリー



最近のトピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

前年同期比増収、下期偏重の傾向により累計利益は3Qで黒字転換

単位：(百万円)

| 科目 | 2019年6月期 3Q累計実績 | 2018年6月期 3Q累計実績 | 前年同期比 | | 2019年6月期 通期計画 | 対通期 進捗率 | 2018年6月期 通期実績 |
|---------------|--------------------|--------------------|-------|--------|------------------|------------|------------------|
| | | | 差異 | 増加率 | | | |
| 売上高 | 2,708 | 2,519 | 189 | 7.5% | 3,700 | 73.2% | 3,347 |
| セキュリティ監査・コンサル | 537 | 586 | △ 49 | △8.4% | 838 | 64.2% | 764 |
| 脆弱性診断 | 813 | 671 | 142 | 21.2% | 976 | 83.3% | 900 |
| 情報漏えいIT対策 | 1,357 | 1,260 | 97 | 7.7% | 1,884 | 72.0% | 1,683 |
| 売上原価 | 2,088 | 1,905 | 183 | 9.6% | 2,836 | 73.7% | 2,552 |
| 販売費及び一般管理費 | 548 | 428 | 120 | 28.0% | 678 | 80.8% | 614 |
| 営業利益 | 71 | 185 | △ 114 | △61.6% | 185 | 38.4% | 181 |
| 売上高営業利益率 | 2.6% | 7.4% | | | 5.0% | | 5.4% |
| 経常利益 | 29 | 163 | △ 133 | △81.8% | 155 | 19.2% | 155 |
| 売上高経常利益率 | 1.1% | 6.5% | | | 4.2% | | 4.6% |
| 期間純利益 | 20 | 161 | △ 141 | △87.5% | 134 | 15.2% | 172 |

科目別増減ポイント

| | | |
|-------|---|------------------------------------|
| 売上高 | 前年同期より7.5%増収、特に脆弱性診断売上高が大幅成長 | |
| | セキュリティ監査・コンサルティング | PCI DSSは前年度のピークから一服感、一般企業向けリスクアセス増 |
| | 脆弱性診断 | 3月単月では過去最高の売上高を記録、残業時間も大幅抑制 |
| | 情報漏えいIT対策 | ストック型サービスの案件増に伴い堅調に推移 |
| 営業利益 | 販管費のうち、人件費、株式公開に伴う支払手数料等の増加があり、前年度比減益 | |
| 経常利益 | メールサービスリス増に伴う支払利息増、IPO関連一時費用の増加に伴い、前年度比減益 | |
| 期間純利益 | 上記要因に伴い、前年度比減益 | |

貸借対照表サマリー

公募増資による自己資本比率の上昇により、財務体質は前期より強固に

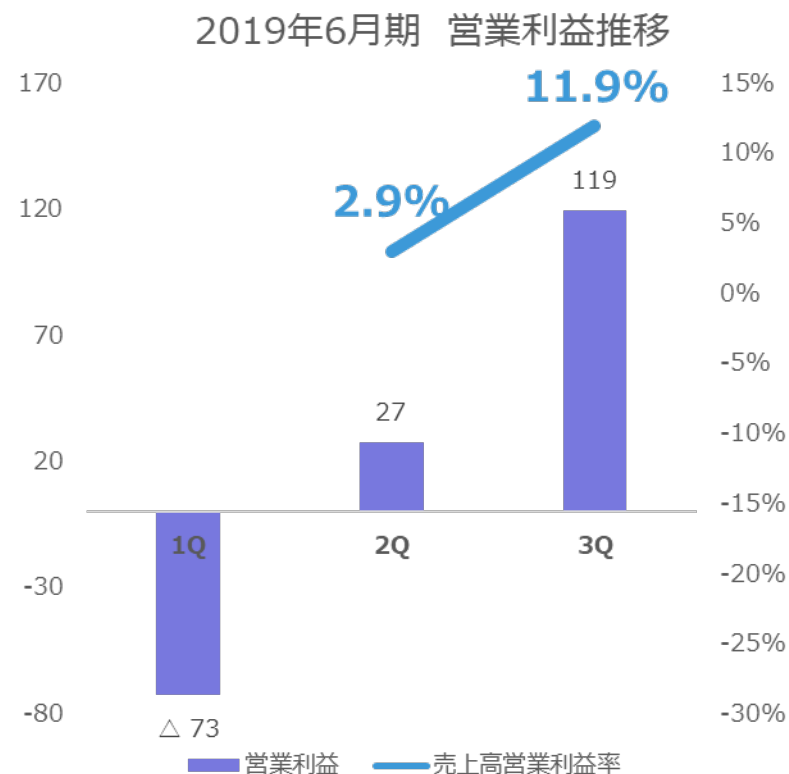
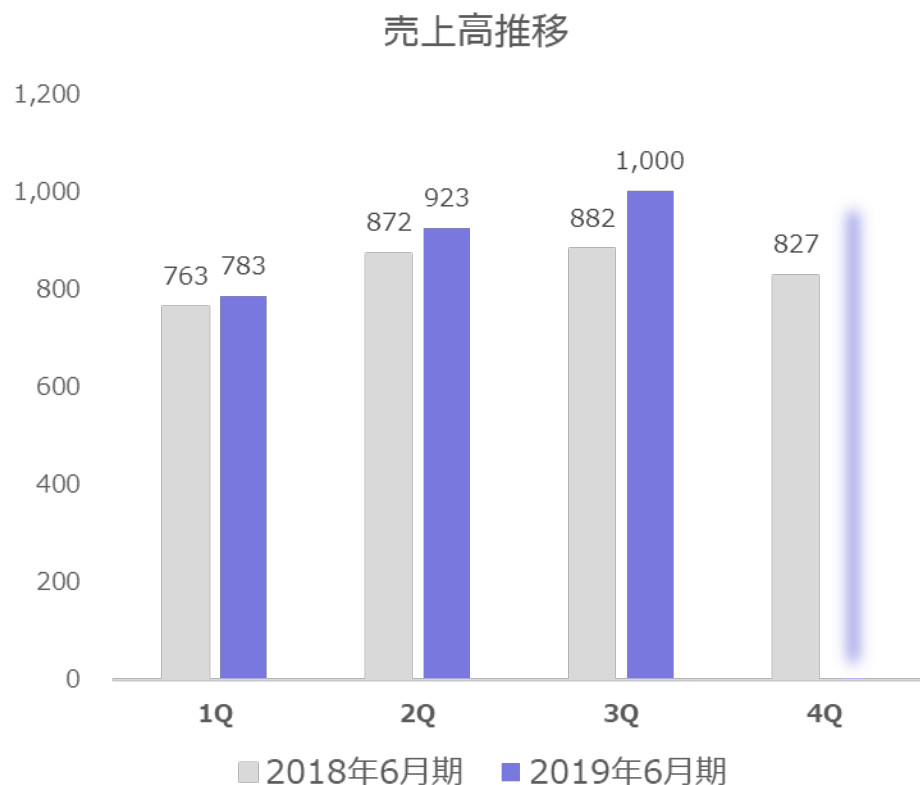
単位：（百万円）

| 科目 | 2018年6月期 末 | 2019年6月期 3Q末 | 前期末比 | 科目別増減ポイント |
|--------------|---------------|-----------------|---------|---------------------------------------|
| 流動資産 | 932 | 1,264 | 135.6% | 売掛金増加+157、前払費用増加+47 |
| うち現預金 | 306 | 428 | 140.0% | 株式発行+358、固定資産取得△168、リース返済△117、営業活動+47 |
| 固定資産 | 713 | 856 | 119.9% | リース資産増加+74 |
| 資産合計 | 1,646 | 2,120 | 128.8% | |
| 流動負債 | 832 | 860 | 103.4% | |
| 固定負債 | 419 | 482 | 115.0% | |
| 負債合計 | 1,252 | 1,343 | 107.3% | |
| 純資産合計 | 393 | 776 | 197.3% | 資本金増加+181 |
| (自己資本比率) | 23.9% | 36.6% | + 12.7p | |

四半期単位の売上および営業利益は順調に推移

前年度比較で、毎四半期増収基調を継続中
 当3Qの営業利益率は11.9%（四半期営業利益119百万円）を達成

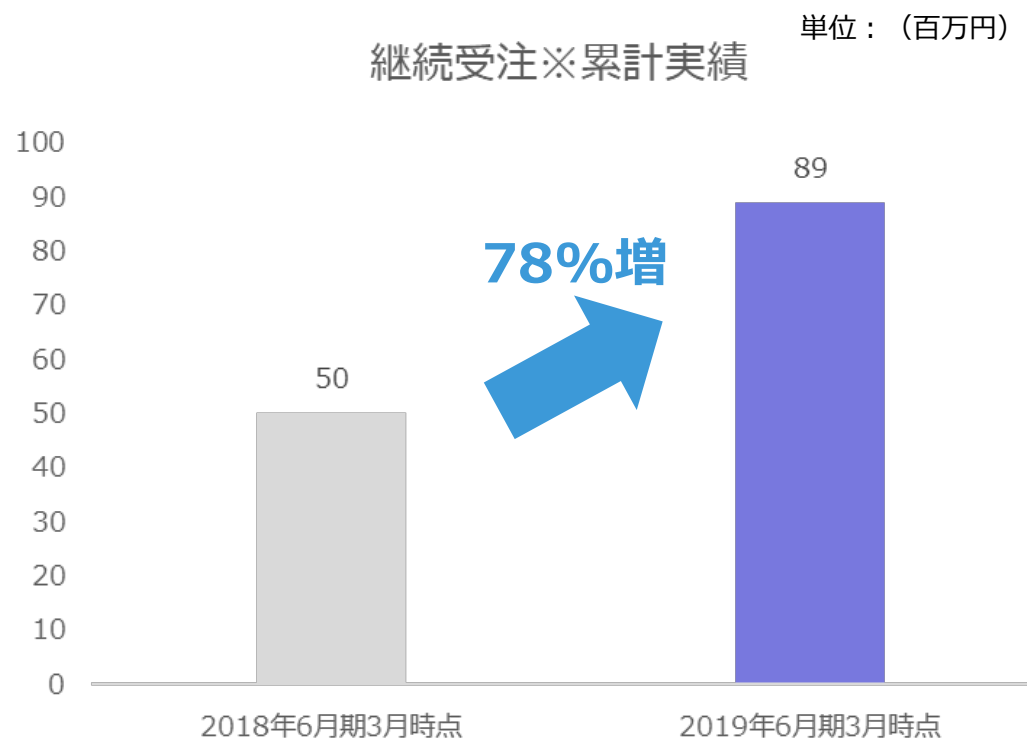
単位：（百万円）



※2018年6月期1Qおよび同2Qは監査法人の四半期レビューの対象外です。

継続（年間契約）品目の受注好調

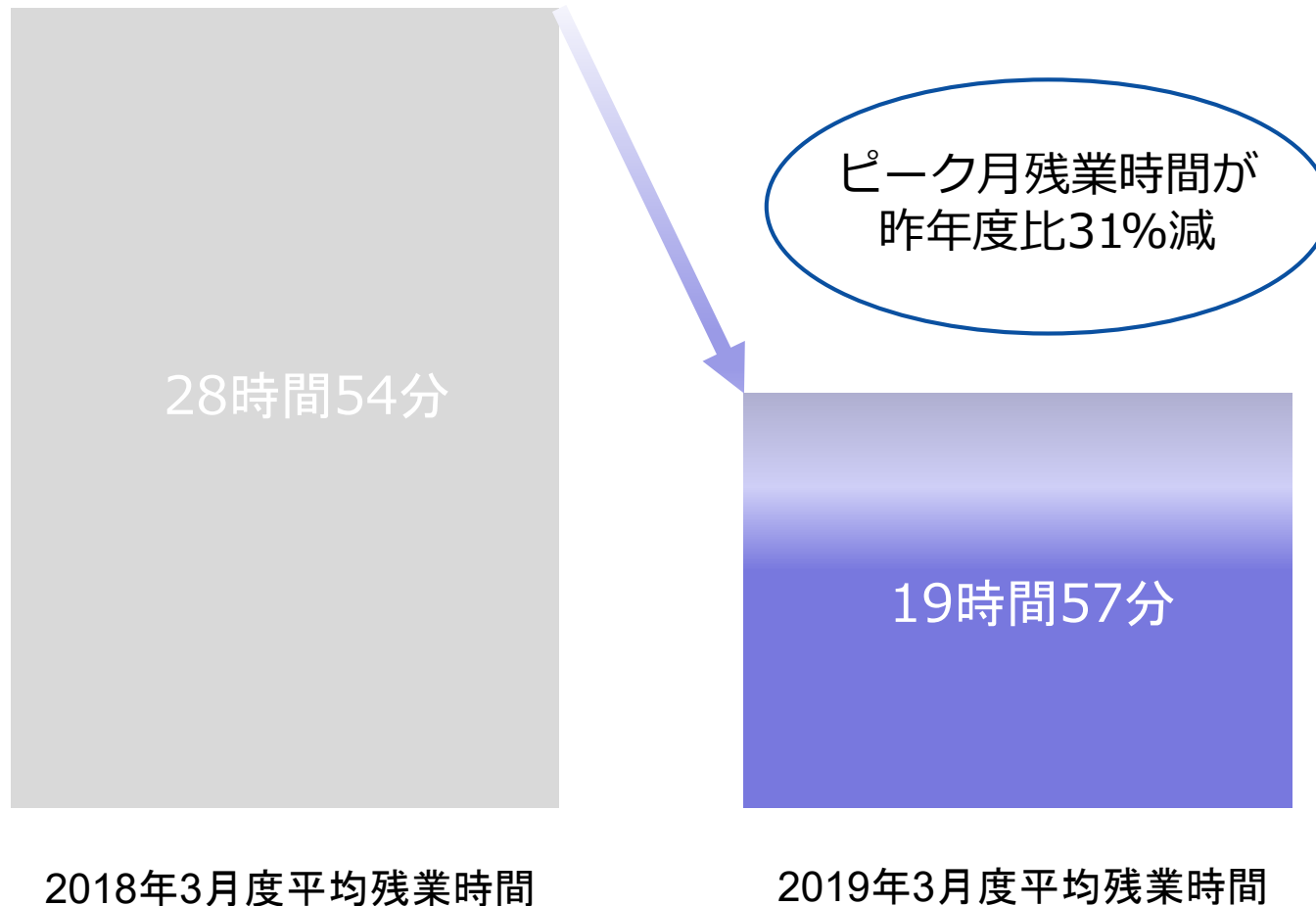
前年度同時期比較で、継続（年間契約）品目の受注が78%増
期初月と期末月比較で、月額1000万円超の売上積上が確定



※12ヶ月以上の売上計上が見込まれるサービスの受注の、月額売上換算金額

残業時間の大幅削減を実現

案件の受け入れスケジュールの徹底管理、AI積極活用による自動化等が奏功し
前年度より大幅増収となったピーク月（3月）でも残業時間は大幅削減を実現



2019年6月期 第2四半期 業績サマリー

最近のトピックスのご紹介



株式会社ブロードバンドセキュリティについて

最近のトピックスのご紹介

- 1月 エンドポイントセキュリティ運用支援サービスを開始
- 2月 QRコード決済事業者向け、セキュリティリスクの可視化および対策コンサル開始
- 4月 ベトナムおよびカンボジア企業より、PCI DSSサービスを受注

エンドポイントセキュリティ運用支援サービスを開始（2019.1.28）

従来型アンチウイルス製品では検知が困難な、ファイルレス攻撃等の増加を背景とする顧客ニーズに応えるため、エンドポイントのサイバーセキュリティ対策を支援するサービス「EDR-MSS for CB Defense」を開始。

<サービスの特長>

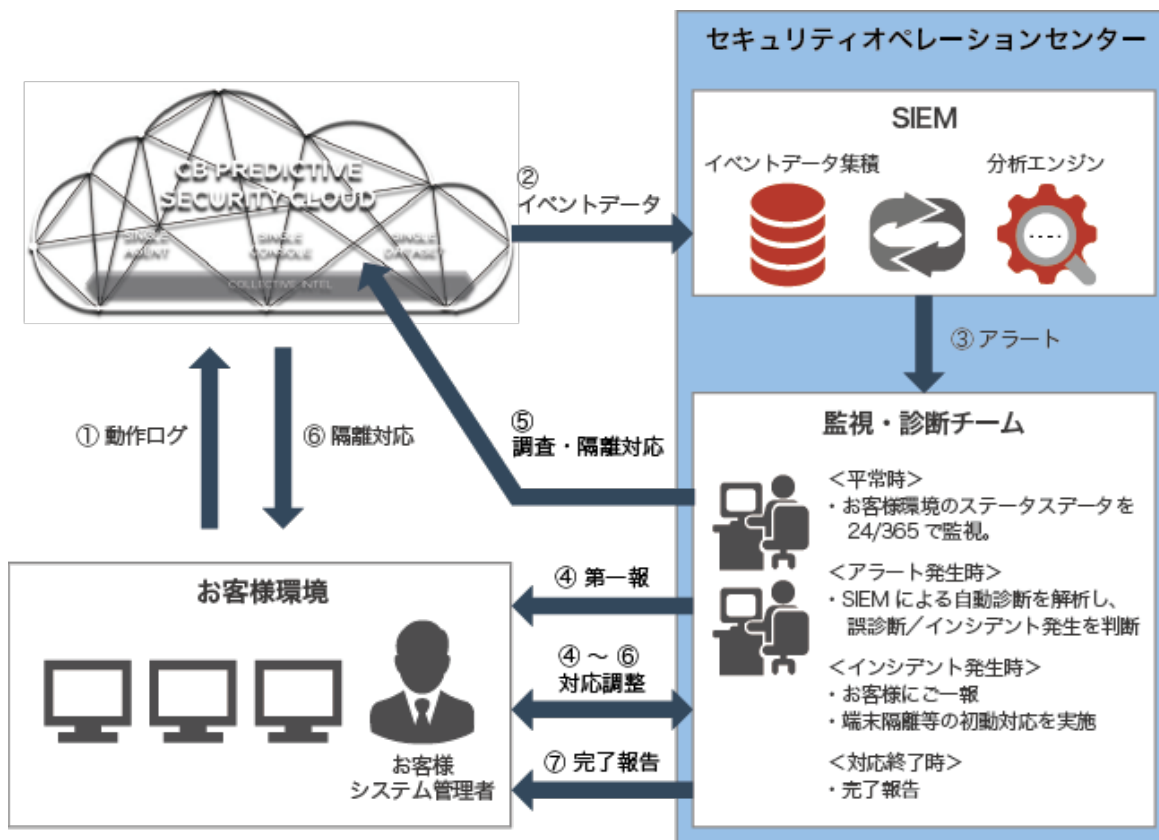
従来型アンチウイルス製品のリプレイが可能

難易度の高いCB Defenseの設定を支援

迅速な運用支援によるリスクの最小化

お客様の運用負担軽減

重大インシデントへの柔軟かつ連携した対応



QRコード決済事業者向け、セキュリティリスクの可視化および対策コンサルティングサービスを開始（2019.2.21）

日本政府が「キャッシュレス・ビジョン」において、2027年までにキャッシュレス決済比率を、現在の約2割から4割に倍増させる計画の中、QRコード決済にまつわるセキュリティリスクの低減を支援するサービスを開始。

QR 決済セキュリティコンサルティングサービスにおける BBSec の強み

セキュリティリスクの可視化～コンサルテーション～セキュリティ診断テストまで
一貫したソリューションで提供可能

セキュリティ コンサルティング サービス

国際資格をもつ 多数のコンサルタント

- ・ P2PE QSA 2名
- ・ 3DS Assessor 2名
- ・ QSA 26名
- ・ AQSA 6名

豊富な実績

- ・ 2008年から積み上げてきた信頼性
- ・ PCI DSS 準拠評価認定付与企業数 88社
- ・ PCI DSS GAP 分析、設計コンサルティング等実施案件数 246 案件

国内キャッシュレス化 推進に協力

- ・ 産学官連携組織「一般社団法人キャッシュレス推進協議会」への参画

(2019年2月現在)

診断サービス (SQAT®)

2009年から積み上げてきた「セキュリティ診断サービス」
新たなセキュリティリスクと日々向き合ってきた多数の実績



ベトナムおよびカンボジア企業より、PCI DSSサービスを受注（2019.4.3）

ベトナムのLotte Finance Vietnam社（本社：ベトナム・ハノイ）および、カンボジアのKB Daehan Specialized Bank社（本社：カンボジア・プノンペン）より、PCI DSS※の監査・コンサルティングサービス等を受注しました。

国内でキャッシュレス社会に対する機運が盛り上がる中、APAC（アジア太平洋）エリアにおいても、今後急速にキャッシュレスセキュリティに対する需要が高まることが予想されております。このたびはロッテ・カードが全額出資するファイナンス会社「Lotte Finance Vietnam社」および、韓国最大手の一つKB Kookmin Card（KB国民カード）のカンボジア進出企業「KB Daehan Specialized Bank社」より以下のサービスを受注いたしました。

- ・PCI DSS準拠のためのコンサルティングサービス
- ・準拠証明書を発行するためのオンサイト評価サービス
- ・PCI DSS準拠および維持に必要な脆弱性診断サービス

リリース英語版サイト

<https://www.bbsec.co.jp/en/pci/index.html>

※PCI DSS（Payment Card Industry Data Security Standard）クレジットカード業界のセキュリティ基準

2019年6月期 第2四半期 業績サマリー

最近のトピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて



会社概要

会社名

株式会社ブロードバンドセキュリティ (略称：BBSec)
BroadBand Security, Inc.

本社所在地

東京都新宿区西新宿8-5-1
野村不動産西新宿共同ビル4F (〒160-0023)

URL

<https://www.bbsec.co.jp/>

設立

2000年11月30日

資本金

2億8,169万円

決算期

6月

株式公開情報

市場：東京証券取引所 JASDAQスタンダード市場
上場日：2018年9月26日
株式コード：4398

従業員数

193名

代表者

代表取締役社長 持塚 朗

事業内容

1. セキュリティ監査・コンサルティングサービス
2. 脆弱性診断サービス
3. 情報漏洩IT対策サービス

事業所

国内：天王洲オフィス、大阪支店、名古屋支店
海外：韓国支店
オペレーションセンター：1 拠点 (東京都内)

(2019年3月現在)

会社沿革

| 2000 会社設立 | 2005 セキュリティサービス開始 | 2009 セキュリティ特化 | 2012 グローバル化 | 2016 統合サービス化 | 2018 公開企業化 |
|--|---|--|---|---|---|
| <p>国内ブロードバンド網の相互接続インフラを提供すべく会社を設立</p> <hr/> <p>2000年11月 会社設立（社名：(株)ブロードバンドエクスチェンジ）</p> <p>2004年10月 合併によりネットワーク監視事業を追加</p> <p>2004年10月 大阪支店設立</p> | <p>初のセキュリティサービス「セキュアメールASPサービス」を開始</p> <hr/> <p>2006年5月 (株)ブロードバンドセキュリティに社名変更</p> <p>2006年10月 ソースコード診断サービス提供開始</p> <p>2007年1月 「SQAT」情報システム品質分析サービスを提供開始</p> <p>2008年5月 PCI DSSの認定審査機関「QSAC」認定取得</p> | <p>サービスを再整理し、セキュリティ事業に特化</p> <hr/> <p>2009年1月 デイリー脆弱性診断サービス提供開始</p> <p>2009年2月 BEXサービスを事業譲渡開始</p> <p>2009年4月 セキュリティオペレーションセンター開設</p> <p>2009年4月 「PCI DSS準拠支援サービス」を提供開始</p> | <p>国内企業の海外展開支援をするために、韓国支店オープン</p> <hr/> <p>2012年3月 韓国営業所（現韓国支店）設立</p> <p>2013年3月 デジタルフォレンジック事業開始</p> <p>2013年10月 モダンマルウェア検知サービス「MARS」を提供開始</p> <p>2015年5月 PCI DSS準拠支援サービスのグローバル対応本格展開</p> | <p>サービス提供範囲をITのみから組織全体へと拡大</p> <hr/> <p>2016年5月 PCI DSSオンサイト評価サービスを米国、ヨーロッパに拡大</p> <p>2016年8月 PCI DSSのP2PE認定審査機関「QSA（P2PE）」取得</p> <p>2017年5月 インターネット分離サービス提供開始</p> <p>2017年10月 パブリッククラウド向けセキュリティ診断サービスを開始</p> | <p>お客様の基幹に触れる事業者としての責任を果たすべく、株式公開</p> <hr/> <p>2018年5月 PCI 3DS準拠支援コンサルティング・審査サービスを開始</p> <p>2018年9月 東京証券取引所JASDAQ市場への新規上場</p> <p>2018年12月 ポータルサイトでのPCI DSS準拠支援サービスを開始</p> |

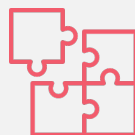
ブロードバンドセキュリティ（BBSec）とは

セキュリティ対策の可視化から運用までをトータルに支援する、セキュリティサービスプロバイダー



常にお客様に
寄り添い
現状の可視化から
日々の運用までの
ライフサイクルを
トータルに支援

セキュリティ対策の
現状調査・可視化
企画・検討



セキュリティ監査・
コンサルティングサービス

- セキュリティ・アドバイザー
- リスクアセスメント
- ウィルス感染チェック
- CSIRT 構築 / 運用支援
- セキュリティログ分析 / 活用支援
- PCI DSS準拠支援 / オンサイト評価
- 標的型攻撃メール訓練 他

脆弱性診断サービス

- WEB アプリケーション脆弱性診断
- ネットワーク脆弱性診断
- データベース診断
- スマホアプリ脆弱性診断
- パブリッククラウド向け脆弱性診断
- ソフトウェア品質自動分析診断
- WEB サイトコンテンツ改ざん検知 他

セキュリティ対策の
導入・運用



情報漏洩
IT対策サービス

- セキュアメール
- マネージドセキュリティ
- モダンマルウェア検知
- インターネット分離クラウド
- SIEM 運用 / 分析
- Splunk 自動遮断連携
- エンドポイントセキュリティ運用支援 他

※1 PCI DSS Payment Card Industry Data Security Standard ※2 CSIRT Computer Security Incident Response Team
※3 SIEM Security Information and Event Management

サービス一覧

セキュリティ監査・コンサルティングサービス

お客様システムの可視化、課題抽出、課題解決を目的とした、組織全体に対するセキュリティ支援サービス。IT・組織双方を対象とした各種サービスは、企業のセキュリティにおける盲点を発見し、実現可能な解決策をご提示いたします。



可視化・課題解決

- セキュリティ・アドバイザリ
- リスクアセスメントサービス
- ウィルス感染チェック
- ネットワーク機器設定診断



セキュリティ認証取得

- PCI DSS準拠支援
- PCI DSSオンサイト評価
- 日々ログ
- Smart SAQ Online
- ISO27001認証取得支援
- プライバシーマーク取得支援



体制構築

- CSIRT 構築／運用支援
- セキュリティログ分析／活用支援



情報提供

- 脆弱性情報提供

脆弱性診断サービス

お客様システムに潜む脆弱性を検証するサービスです。数多くの攻撃手法が出現し、より巧妙化する中、脆弱性診断は、新規開発時だけでなく、当初脆弱性が存在しなかった運用中のアプリケーションにも定期的実施すべきプログラムです。



スポット型脆弱性診断

- WEBアプリケーション脆弱性診断
- パブリッククラウド向け脆弱性診断
- データベース診断
- ネットワーク脆弱性診断
- ソフトウェア品質分析診断
- スマホアプリ脆弱性診断
- SaaS型ソフトウェア品質自動分析診断



脆弱性診断保守

- WEBサイトコンテンツ改ざん検知
- デイリー自動脆弱性診断

情報漏洩IT対策サービス

たった一つのセキュリティパッチに対処しなかったために会社全体に大きな損害を与える。慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用をセキュリティのプロフェッショナルが**24時間・365日**体制で支援いたします。



セキュリティ運用支援

- マネージドセキュリティ
- WAF運用
- モダンマルウェア検知
- Splunk運用／分析
- Splunk自動遮断連携
- エンドポイントセキュリティ



インターネット分離

- インターネット分離クラウド



緊急対応

- 緊急対応サービス
- デジタルフォレンジック



セキュアメール

- セキュアメールホスティング
- セキュアメールゲートウェイ



教育

- 標的型攻撃メール訓練

当社が多くのお客様から選ばれるのには、理由があります。

ニュートラル



最適な改善策を提示するために
欠かせないベンダーニュートラル性

技術対応力



経験、知識、情報網を核とした
最先端の技術対応力

信頼性



サービスご利用の高いリピート率が
示す高信頼性

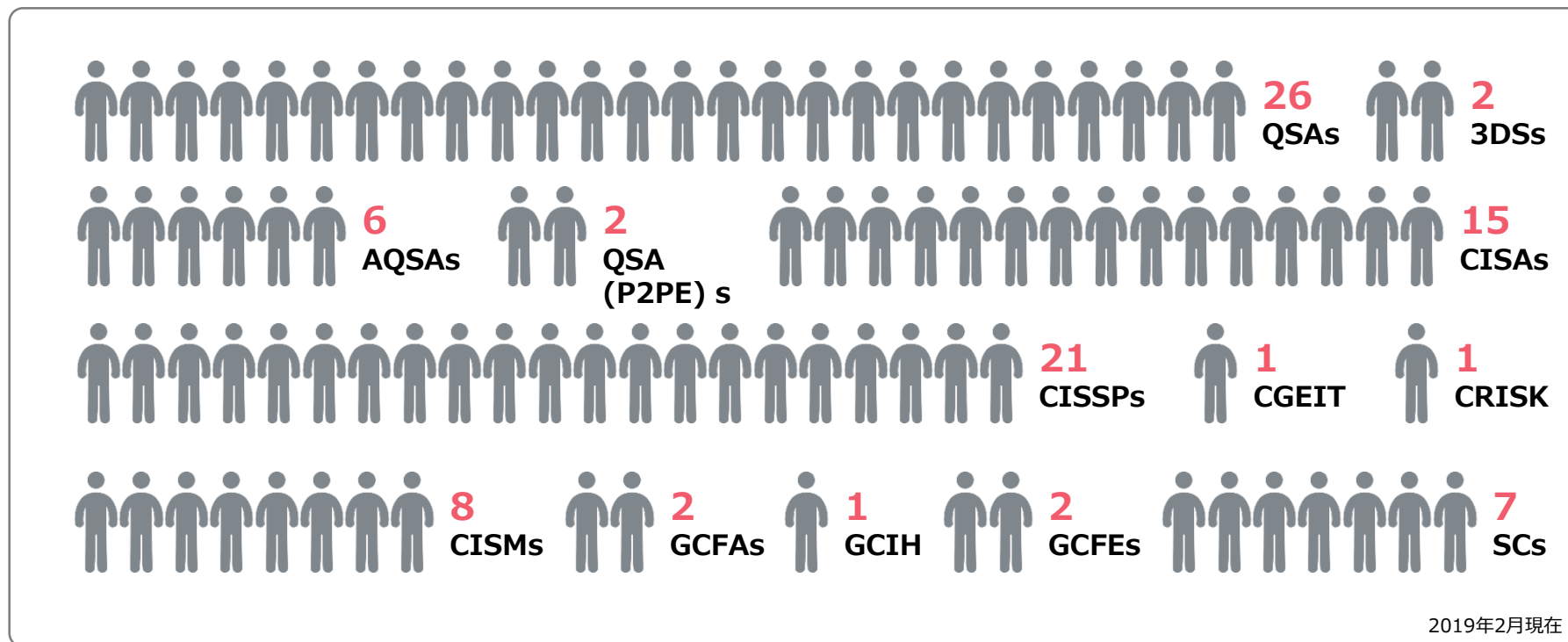
ユーザーオリエンテッド



お客様個別のニーズやスピードに
お応えする柔軟な体制

高い技術対応力

セキュリティの公的資格をもつ技術者が多数在籍。
多角的にお客様のセキュリティ対策を検証・支援いたします。



QSA: Qualified Security Assessor
AQSA: Associate Qualified Security Assessor
QSA(P2PE): QSA (Point-to-Point Encryption)
3DS: 3-D Secure Assessor
認証機関: PCI Security Standards Council

SC: 情報処理安全確保支援士
認証機関: 経済産業省

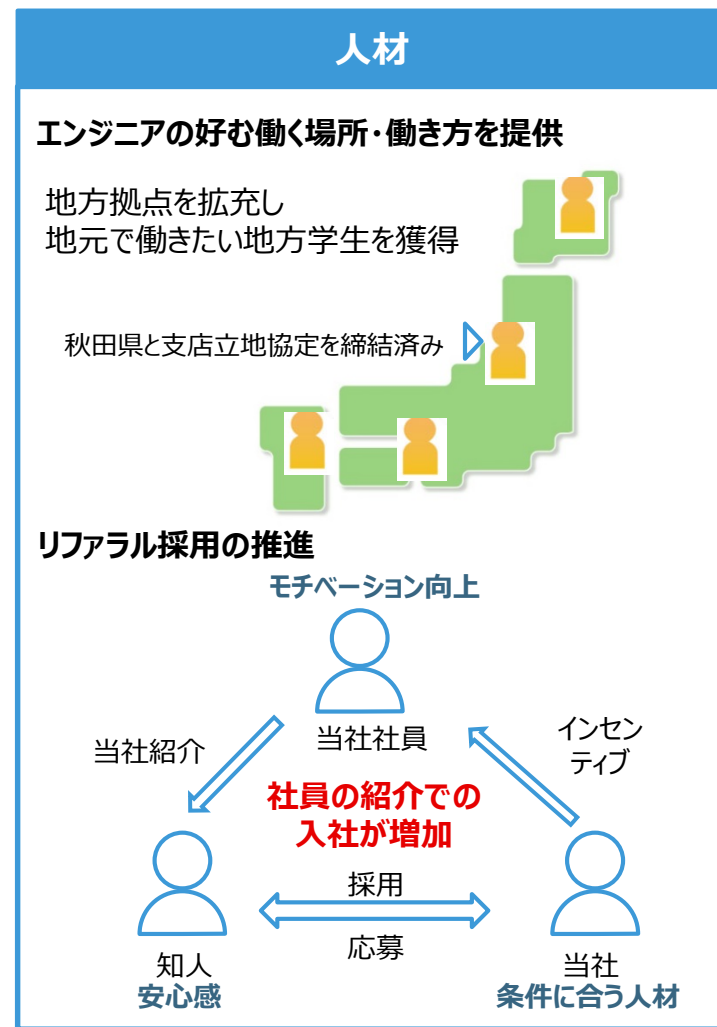
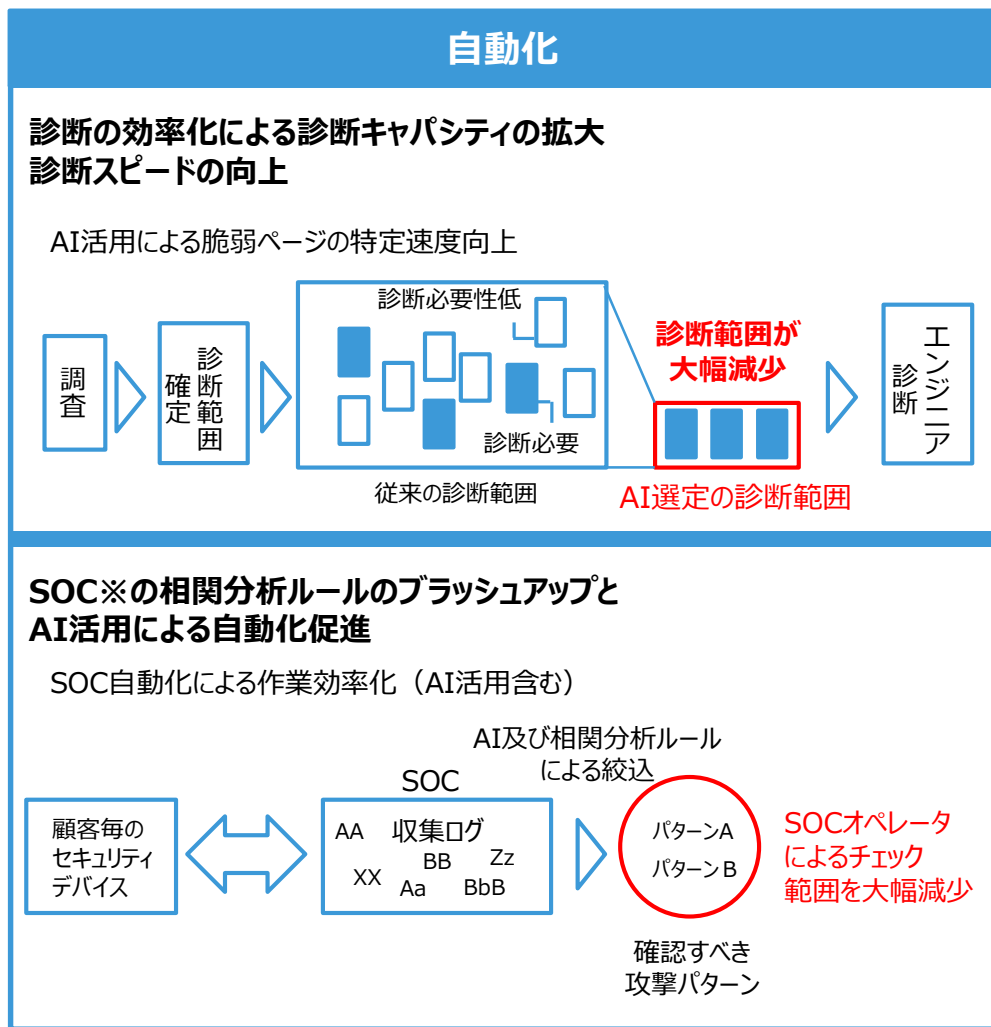
CISSP: Certified Information Systems Security Professional
認証機関: [International Information Systems Security Certification Consortium \(ISC\)²](#)

GCF: Certified Forensic Analyst
GCIH: Certified Incident Handler
GCFE: Certified Forensic Examiner
認証機関: [Global Information Assurance Certification](#)

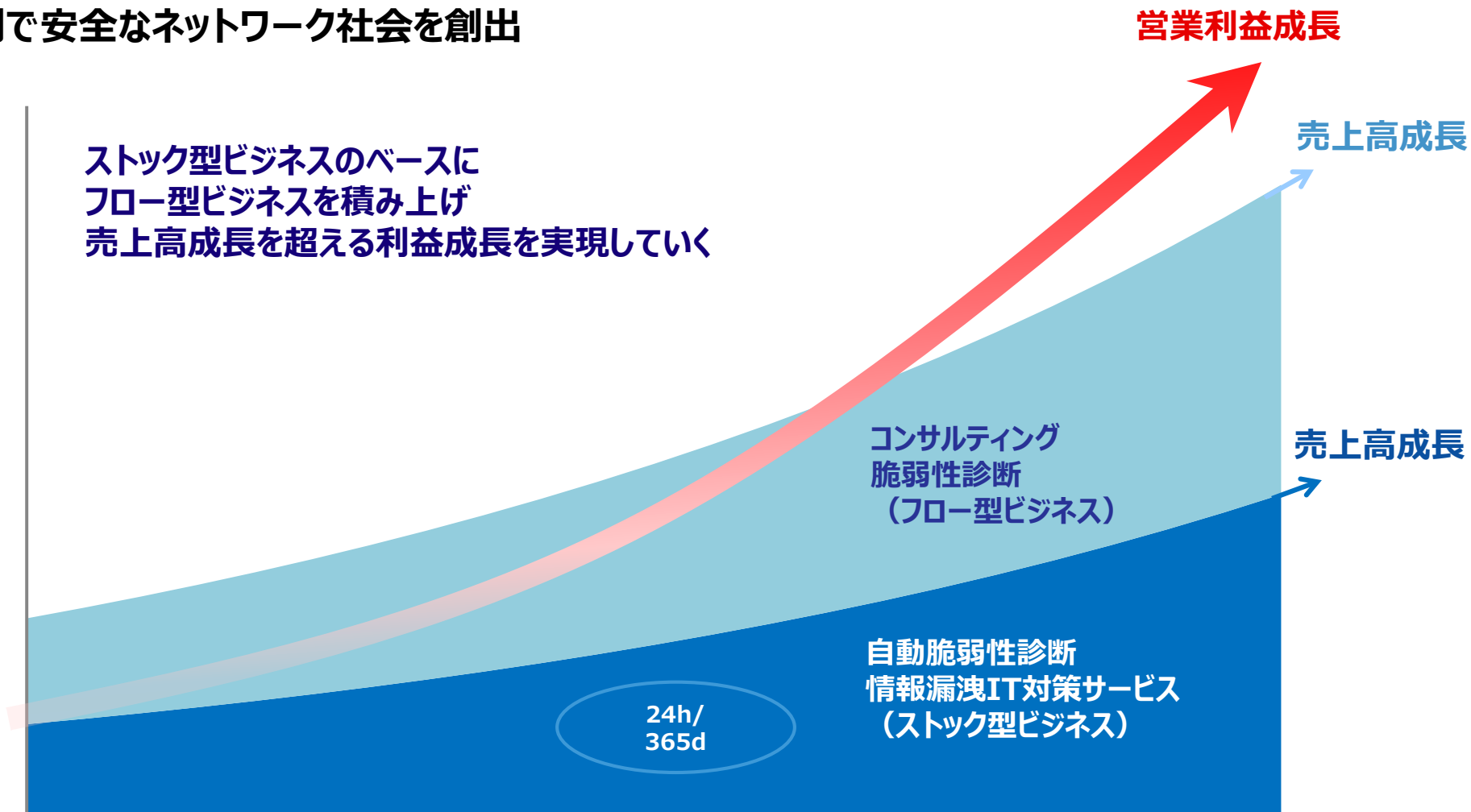
CISA: Certified Information Systems Auditor
CISM: Certified Information Security Manager
CGEIT: Certified in the Governance of Enterprise IT
CRISC: Certified in Risk and Information Systems Control
認証機関: [Information Systems Audit and Control Association \(ISACA\)](#)

今後の戦略～自動化×人材による収益性向上

自動化×人材で更なる成長率の向上を目指す



多角的なセキュリティサービスの提供により
便利で安全なネットワーク社会を創出



本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ

Internet mail: ir@bbsec.co.jp WEB: <https://www.bbsec.co.jp/>
東京本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F
TEL : 03-5338-7430